

高知県立 高知城歴史博物館

OHAKU NEWS

Volume
13

展示室開室スケジュール ●令和3年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧頂けます。

3F	6月	7月	8月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第2期	～7月26日(日)	8月6日(金)～ 第3期 ～10月11日(日)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	ジョーハク 刀剣 強化月間1 (～6月14日(月)) 第1期	7月2日(金)～	ジョーハク 刀剣 強化月間2 第2期 ～8月23日(日)
特別展示室 企画展	地域展 仁淀川～流域の歴史と文化～ 6月19日(土)～ ～9月5日(日)		

地域展 仁淀川 関連行事

流域散策会

東外編 仁淀川源流域・面河溪を訪ねる

日時/8月22日(日)8:00～17:30
案内人/矢野真志氏(面河山岳博物館学芸員)
定員/20名
参加費/1,800円(昼食代、施設入場料)

高橋宣之氏の映像解説会

日時/7月11日(日)13:30～14:30
会場/当館1階ホール
定員/40名
参加費/無料

小林勝利氏の写真解説会

日時/7月18日(日)、8月29日(日)
各日10:30～11:30
会場/当館2階エントランスホール等
定員/各回10名
参加費/無料

映画会「椿山―焼畑に生きる―」

日時/8月8日(日)14:00～16:00
会場/当館1階ホール
定員/50名
参加費/無料

展示解説会

日時/7月11・25日、8月8・15日、
9月5日(いずれも日曜日)
10:00～各回約40分
会場/当館3階特別展示室
参加費/要展示観覧券

夏休み子どもイベント

探検!発見!高知城

日時/7月22日(木・祝)9:00～11:30
定員/小学生10名
参加費/無料

夏休み工作教室 土佐和紙の照明づくり

日時/7月31日(土)10:00～12:00
講師/片岡あかり氏(尾崎製紙所)
定員/小学生15名
参加費/1,500円(材料費)

申込方法 電話・FAX・ハガキのいずれかで当館にお申し込みください。
(住所・氏名・電話番号・希望行事・子どもイベントは学年も)
申込締切 地域展関連行事は開催日の2週間前までにお申し込みください。
応募者多数の場合は抽選となります。
当選者には参加券をお送りします。

※各行事の詳細は当館ホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

城博講座 6～8月	6月12日(土)	7月10日(土)	7月24日(土)	8月
歴史講座 第1回「仁淀川流域の歴史 ～平安から戦国時代を中心に」 講師/横山和弘(当館歴史担当学芸員)	古文書講座 第2回「近代の文書」 講師/当館歴史担当学芸員	保存修復講座 第1回「自然災害と地域文化財の保存・継承」 講師/田井東浩平(当館保存担当学芸員)	城博講座の 開催はありません	

電話・FAX・当館総合受付のいずれかでお申し込みください(住所・氏名・電話番号)。
●各回、開催月の前月1日から受付を行います。
※申込多数につき、当日ご参加いただけない場合があります。希望される方には講座の配付資料を無料でお送りいたします。

お得な年間観覧券が オススメです

城博の展示は、年間5回の企画展に加え
総合展示室2室も約2ヵ月毎に展示替
え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。
ぜひご利用ください。

年間観覧券/2,000円
※有効期間は購入日より1年間。

各種会員制度も ご利用ください。

友の会 年間観覧券と様々な特典が
付いた会員制度です。
年間 3,500円

情報会員 城博ニュースのほか、展示や
行事・催し物などのお知らせ
をご自宅にお送りします。
年間 500円

友の会、情報会員の
詳細はこちら

開館時間 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は開館の30分前まで

休館日 年末 [12月26日～12月31日] ※展示室の休室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料

- ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金
- ◆企画展開催期間中…………… 700円(560円)
- ◆年間観覧券…………… 2,000円
- ◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです
(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円
- ◆高校生以下は無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、聴覚障害者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料。
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。

交通アクセス

- ◆お車を
ご利用のお客さま 高知自動車道高知ICから約15分。一般来館者用の駐車場はございません。
周辺の有料駐車場をご利用ください。 ※障害者用駐車場(2台)あり。
- ◆JRを
ご利用のお客さま JR高知駅からまでJR交通路電車(はりまや橋)方面行き5分。
はりまや橋下車、東り換え(瀧川橋または朝倉、またはいの方面行き5分)、高知城前下車、徒歩3分。
- ◆飛行機を
ご利用のお客さま 高知龍馬空港からは高知市内と空港間を結ぶ連絡バスをご利用頂けます。
JR高知駅行きは「はりまや橋」、県庁前行きは「県庁前」で下車してください。

高知県立
高知城歴史博物館

〒780-0842 高知県高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619

高知城博 検索

発行日/令和3年(2021)6月30日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館

地域とともに 地域企画課の立ち上げと 施設支援窓口の開設

わたしたち高知城歴史博物館は「保存」、「調査研究」、「展示公開」、「教育普及」という取組資料を核とした基本的な博物館活動とあわせて、「地域連携」に力を入れています。

深刻化する過疎高齢化、迫り来る自然災害…。いま、土佐の歴史文化は危機に瀕しています。わたしたち高知城歴史博物館は、開館当初より、地域の博物館として「地域振興・観光振興への寄与」を使命の一つに掲げ、企画員を中心に積極的に地域へと飛び出し、地域の方々とともに大切な歴史と文化を守り伝えていくための様々な活動を行ってきました。

一方で、高知の豊かな歴史文化の保存、継承、発展には、各地の文化施設活動の充実も欠かせません。令和元年度から2カ年、当館では高知県からの委託により「地域歴史文化調査支援室」を館内に設置し、県内各地の文化施設への協力・支援にも取り組んできました。そして今年度、いよいよ施設支援の機能を博物館の本体事業に含め、一体的な地域連携事業を改めて展開していくため、地域企画課を立ち上げました。

そこで今号では、地域企画課内に新しく開設した「施設支援窓口」について、その設立の経緯と活動の一端をご紹介します。(中頁)



夏休み企画

7.21(水)～8.31(火)

① 博物館クイズラリー (小学生対象)

館内をめぐってクイズに答え、
秘密の合言葉を探してみよう!

② やまびよん音声ガイド (総合展示室対応)

城博キャラクター、やまびよんが展示資料のみどころをガイド。
大人も子どももお楽しみいただけます。
※利用無料(お手持ちのスマートフォンでお聞きください(貸出対応可))。



展示室ではイヤホンで
お聞きください。

NİYODO RIVER - HISTORY AND CULTURE OF THE WATERSHED

地域展 仁淀川

流域の歴史と文化

令和3年/2021年
6月19日 土曜日
9月5日 日曜日

四国最高峰の石鎚山系に源を発し、遙か遠く太平洋へと溢れそそぐ清流仁淀川。流域面積では四国第3位、高知県第2位の一般市町村にまたがって流れています。仁淀川の流域では、原始以来人々が暮らしを営み、豊かな歴史と文化を築いてきました。今回の企画展では、流域社会の歴史と文化について、時代の移り変わりと、上流・中流・下流の地域性に注目し、ご紹介いたします。

普段は公開されていない県指定、市町村指定の地域の文化財を多数展示し、地域の歴史文化をご紹介します。ぜひこの機会に、「仁淀ブルー」の背景にあり、それを生み出してきた奥深く魅力的な地域の歴史に触れてみてください。

吾北 吉井家伝来の寶術 明治時代/いの町歴史博物館

池川 重要文化財 長宗我部地検帳の内、池川地検帳 安土桃山時代/高知県立高知城歴史博物館

伊野 重要文化財 八角形漆塗神輿 慶應時代/いの町伊根神社 重要文化財 木通菩薩像 平安時代/日高村小村神社 重要文化財 土佐市渡介出士の桐矛 戦国時代/高知県立歴史民俗資料館

日高村 重要文化財 木通菩薩像 平安時代/日高村小村神社 重要文化財 土佐市渡介出士の桐矛 戦国時代/高知県立歴史民俗資料館

越知町 高橋奇寛より、横倉山の山容と仁淀川 江戸時代/高知県立高知城歴史博物館

佐川町 高知県指定文化財 大造鑿師如来坐像 南北朝時代/佐川町教育委員会 重要文化財 土佐市渡介出士の桐矛 戦国時代/高知県立歴史民俗資料館

仁淀川町 猿轎権現の猿面 明治時代/仁淀川町日蓮神社

吾川 名野川郷百姓等選取の回 江戸時代/高知県立歴史民俗資料館

土佐市 重要文化財 土佐市渡介出士の桐矛 戦国時代/高知県立歴史民俗資料館

今日企画展は...

- 地域の文化財を多数展示します!
- 展示資料の半分以上が指定文化財です!
- 仁淀川流域の歴史をダイジェストでご紹介します!
- 上流・中流・下流の地域性を意識してご紹介します!
- 流域の有名な祭礼道具もご紹介します!

総合展示室 展示情報 歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

1 第2期 5月19日(水)~7月26日(月)
第3期 8月6日(金)~10月11日(月)

黒大鳥毛
土佐藩山内家の大名列や戦陣の目印となった槍先の飾り。特設展示3「秋葉まつり」の祭礼道具「鳥毛」とあわせてお楽しみください。



2 第2期 7月2日(金)~8月23日(月)

ジョーハク 刀剣 強化月間2
土佐国高岡郡佐川出身の刀工南海太郎朝尊(1806-65)。復古刀を提唱した理論派として知られ、近年はゲームにも登場して人気急上昇中。今回はそれぞれに個性の異なる朝尊の刀3振を展示し、徹底比較します。朝尊と同郷の声優・小野大輔さんの音声ガイドと共に楽しみください。



逸品

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主のお道具など、6万7千点の土佐藩山内家資料をはじめとした土佐藩 高知県ゆかりの収蔵資料の中から、学芸員がオスカーの名品や隠れた逸品をご紹介します。

戦国社会の「宝箱」 長宗我部地検帳

戦国時代に土佐国を統一し、四国を制覇した長宗我部元親は、豊臣秀吉に臣従した後、天正15年(1587)から土佐国の惣検地・土佐国全域の土地調査を実施しました。元親・盛親父子によるこの時の検地帳簿は、現在368冊が伝わっています。江戸時代の写本等を含む、国の重要文化財に指定されています。秀吉の丈艸検地原則にもつき実施された大名検地で、旧国単位の検地記録がほぼすべてとして伝存している大変貴重な史料です。

長宗我部氏によるこの検地帳簿は、「一般に『長宗我部地検帳』と呼ばれる」と氏方の有力な家臣団の構造、当時の土地所有や土地開発、あるいは職人や植生、地名に関する分析など、戦後の地方史研究の発展の中で、多方面から研究されてきました。とりわけ、戦国時代の後半、安土桃山時代の地域社会の様子を見事に伝える史料として、「長宗我部地検帳」は高い史料価値を有しています。

例えば、『長宗我部地検帳』から仁淀川流域の当時の様子を探ると、土佐市の新居や高岡1の町の波川には遊船場があり、河川交通や物資集積の地点となっていたこと、あるいは土佐市の高岡

地域社会のこのような具体的な姿を、土佐国全域にわたって知ることができるのが「長宗我部地検帳」で、16世紀後半の地域史の史料として、極めて希有な史料と言えます。また土地利用や自然災害など、地域の様々な現代的課題を検討する際にも、「長宗我部地検帳」には多くのヒントがあるように思われます。長宗我部氏の検地帳簿は、400年の時を越えて、唯一無二の地域史料として輝きを放ち続けています。

(副館長兼教育普及課長 横山和弘)



「地域展 仁淀川」の特設展示

「地域展 仁淀川～流域の歴史と文化～」では「仁淀川流域の人々」との連携・協力による特設展示も行います。自然や風景、祭礼や人々の暮らしなど、地域の多様な姿を紹介する4つの展示にぜひご注目ください。

- 1. 「神々の流域-仁淀川の四季」**
「仁淀ブルー」の名付け親ともいえる写真家高橋寛之氏の映像作品を上映。川・山・里の神秘的な自然景観をはじめ、集落や祭礼の様子を記録した映像から、仁淀川流域の魅力改めて感じていただけます。
- 2. 「仁淀川運行-おもかげの昭和へ」**
仁淀川上流域の山村とそこで暮らす人々をテーマとした写真展。写真家小林勝利氏が40年にわたって記録した道楽地域の風景と住民の記憶の数々は、「人間の幸せとは何か」を私たちに問いかけます。【観覧料無料】



- 3. 「秋葉まつりの祭礼道具」**
仁淀川町別枝で毎年2月に行われる秋葉まつり。多彩な奉納演舞の中でも花形として知られる「鳥毛ひねり」の道具類を展示します。長さ7メートル、重さ6キロにも及ぶ鳥毛(毛槍)に触れることができます。
- 4. 「流域の学校による学習成果展」**
仁淀川流域の学校による、流域の自然や歴史、文化についての学習の取り組みやその成果をパネル等で展示。仁淀川町立仁淀中学校、越知町立越知小学校、いの町立伊野小学校の3校を紹介します。

県内文化施設への支援・協力

高知県は、平成29年度から2ヶ年にわたり「志国高知 幕末維新博」を開催しました。この博覧会は、高知城歴史博物館(以下、城博)と坂本龍馬記念館をメイン会場とし、地域会場として県内23の歴史系文化施設が企画展示や情報発信を行うという、今までにない規模の企画でした。しかし、開催にあたって、地域会場である文化施設の職員不足や学芸員の不在等の課題が浮上り、県は地域会場支援のために、城博に「支援員」を配置します。その結果、支援員には各文化施設から予想を超える多くの相談が寄せられ、県全体の歴史文化の底上げに繋がりました。

この維新博が終了した後、観光・文化の各分野より、各地域の歴史文化活動のさらなる充実や歴史観光の継続的な推進のためには、文化施設への支援体制の継続が必要であるとの声があります。これにより、令和元年度に高知県からの委託を受け城博内に「地域歴史文化調査支援室」が開設されました。そして、本年度から改めて地域企画課「施設支援窓口」としての活動が始まりました。

その主な活動は、文化施設を対象に、①資料整理・保存、調査、展示・解説などに関する相談対応と人材介助、②所蔵資料目録編成への協力、③資料調査・展示準備や質問対応で活用できる研究成果・文献情報の集約と提供、④資料情報の共有化と公開に向けたシステムの構築、⑤文化施設の活動に補助的にかかわることができる人材養成講座の実施などがあります。

なかでも⑤の「地域学芸員養成講座」は、毎年県内3箇所(東部・中部・西部)で開催し、全10回の講義の中で「資料保存」「資料調査」「資料取扱」「展示」など、博物館業務で役立つ基礎的な知識や技術を座学と実技を交えながら紹介するものです。これまで、17市町村の文化施設職員やボランティア、その活動に関わる行政職員など94名が参加し、学びの成果は地域資料の撮影や展示作業などの場面で活かされ始めています。

高知県には多彩な文化施設が存在し、規模の大小・運営の形態・取り扱う分野の違いなど千差万別で、各文化施設の課題も様々です。地域企画課「施設支援窓口」は新たな体制で始まったばかりですが、その活動の成果が、地域の文化施設活動で活用され、地域資料の保存、継承、活用に繋がると、今後も文化施設の様々な相談に協力し活動を継続していきます。

地域企画課 調査員 岡本麻衣

